



水海道有料道路

通勤時間帯無料化について

答弁

通勤時間帯の渋滞緩和に向けて無料化の再開を進める

水海道有料道路が本年度有料であることから、朝の通勤時間帯に交通渋滞が発生し通勤通学に多くの時間がかかっている。企業や利用者からは、以前のように通勤時間帯は通行無料にするよう声が届いているが、通勤時間帯を無料にする考えがあるか。

都市建設部長

水海道有料道路の時間帯無料措置については、平成31年3月末を持って一たん休止としている。休止後においては、豊水橋と美妻橋の上下線ともに交通量が増加し、通勤通学に利用する方々から事業再開を求める要望が多数寄せられている。今後、企業側からの寄付行為により企業側で損金算入でき寄付金として扱える仕組みづくりを構築し、事業の協賛を得られるようにしていきたい。

議員
通勤時間帯の無料措置について

て、多くの企業から事業再開を求める要望が寄せられており実現に向け協議されているということでも期待していきたい。無料措置により、企業等の社員が勤務し居住することで人口増も期待できる。安心した形で通勤通学ができるような体制づくりをお願いしたい。

市長

有料道路の時間帯無料化については、工業懇話会をはじめ市内の企業の方々に協力をいただきながら、様々な取組みについて、内守谷・坂手工業団地、大生郷工業団地にも説明に出向き対話を重ねている。

また、近隣の坂東市、つくば市の企業とも話を進め、市の財政の持ち出しが極力少なくてできるように協力のお願もしている。また小中学校のPTAからは、通学時の事故につながる心配する声もあり、子供たちの命を守るためにも通勤通学時間帯の渋滞緩和対策として無料化の再開に向け取り組んでいく。



保育所の財源問題について

答弁

建設に係る国・県からの補助金はなく、副食費も従来どおりご負担いただく

公立保育所建設の財源が不足しているというのは本当なのか。

保健福祉部長

公立保育所は必要であれば建設する考えであり、財政不足で建設しないわけではないが、現在直接的な国・県からの補助金はない。全体事業費の90%が起債対象となり、そのうち35%が普通交付税の基準財政需要額に算入されるが、基準財政収入額とはイコールでない。

議員

施設整備事業費の70%（実額35%）が基準財政需要額に見込まれるとのことだが、一般財源化とは自主性の主体的な考え方が求められると思う。

子ども・子育て会議資料に幼児教育の無償化により、1億円の歳出増加が見込まれるとの記載があったがどうか。

保健福祉部長

国からの歳入である臨時交付金の見込額が不明瞭であったた

国が面倒をみると言っているので、自治体としては補助金を主張すべきではないか。

議員

今年10月から幼児教育・保育の無償化により保育料が無料になったが、副食費が有料化されたことになった。保育料の国基準が高いため、今まで安く抑えていた分を市が負担していたが、無償化により財源が浮くことになるため、その浮いたお金で副食費を無料にできないか。

保健福祉部長

保育料の国基準から市基準を差し引いた額は約1千8百万円であり、副食費を免除する場合は約4千6百万円が必要と想定される。無償化以前は保育料に含まれており、今のところ無償化の予定はない。